



自然と生きる日本人

昆虫・木・水

『古事記』『日本書紀』に描かれた古代日本の世界。そこにはチョウやトンボ、白鳥などの生きものが「あの世」と「この世」を結ぶ特別な存在として登場します。古来より日本人は、どのような目で自然を見つめ、関係を紡いできたのでしょうか？ 今回のNカレは、歴史学者・笹本正治先生を講師にお迎えし、地域の風習や伝統、風景を皆さんと一緒に読み解きながら、日本人の自然観のルーツに迫ります。ぜひご参加ください！

◆シリーズ 49 「日本人と自然」について学ぶ全 1 回コース◆

2017 / 1/19 (木)
18:30-20:00
(18:00 受付開始)
三菱商事ビル
3 階大会議室 1

自然と生きる日本人 - 昆虫・木・水 -

講師：笹本 正治
長野県立歴史館 館長

※ “NACS-J 市民カレッジ (略称: Nカレ)” とは、日本自然保護協会 (NACS-J) に集う各分野のスペシャリストが講師を務めるオープンカレッジです。

- 主催：日本自然保護協会
- 共催：三菱商事株式会社
- 会場：三菱商事 MC FOREST
(東京都千代田区丸の内 2-3-1 / 東京駅徒歩 3 分)
- 対象：中学生以上の方
- 定員：40 名 (先着順)
- 参加費：会員無料 / 非会員 3,000 円
※当日のご入会も歓迎です。もちろん会員価格で受講いただけます。

- 申込先：以下 WEB フォームよりお申込みください。
または、お電話・E-mail で①お名前、②所属、③メールアドレス、⑤会員か否か (個人会員の方は会員番号) をお知らせください。

講師紹介

ささもと しょうじ
笹本 正治

長野県立歴史館 館長



1951 年生まれ。博士 (歴史学)。信州大学名誉教授。2016 年より長野県立歴史館 館長。専門は 16 世紀を中心とする日本史学で、職人の歴史や災害の歴史など。『戦国時代の諏訪信仰一失われた感性・習俗』(新典社新書)、『鳴動する中世: 怪音と地鳴りの日本史』(朝日選書)、『信濃の戦国武将たち』(宮帯出版社) など著者多数。

< URL > <https://goo.gl/KTE6Ob>

< TEL > 03-3553-4101 < E-mail > n-college@nacsj.or.jp

日本自然保護協会 (NACS-J) Nカレ担当



自然のちからで、明日をひらく。

日本自然保護協会

THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN